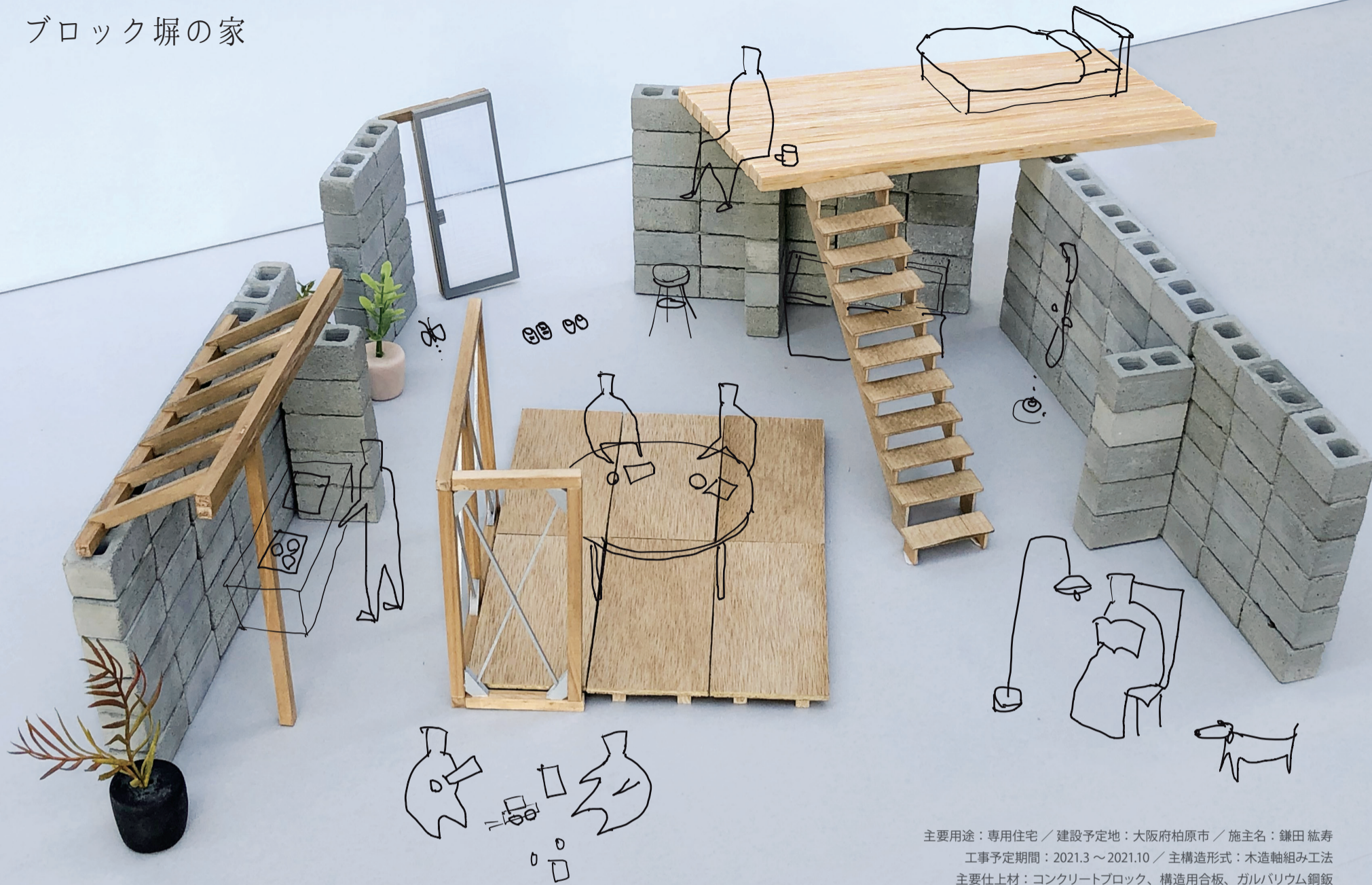


# 中の外、中の中

ブロック塀の家

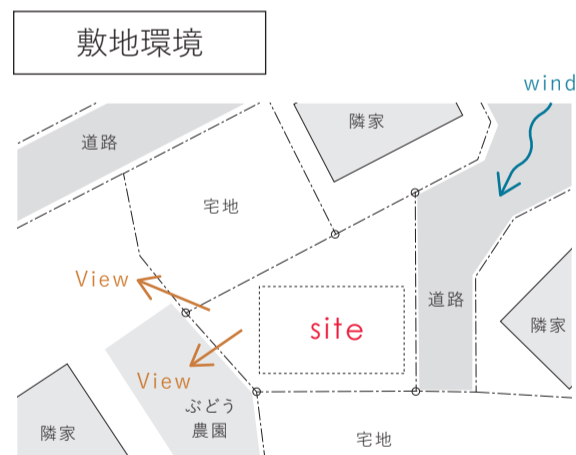


主要用途：専用住宅 / 建設予定地：大阪府柏原市 / 施主名：鎌田 紘寿  
工事予定期間：2021.3～2021.10 / 主構造形式：木造軸組み工法  
主要仕上材：コンクリートブロック、構造用合板、ガルバリウム鋼板  
建築面積：64.34㎡ / 延床面積：96.64㎡

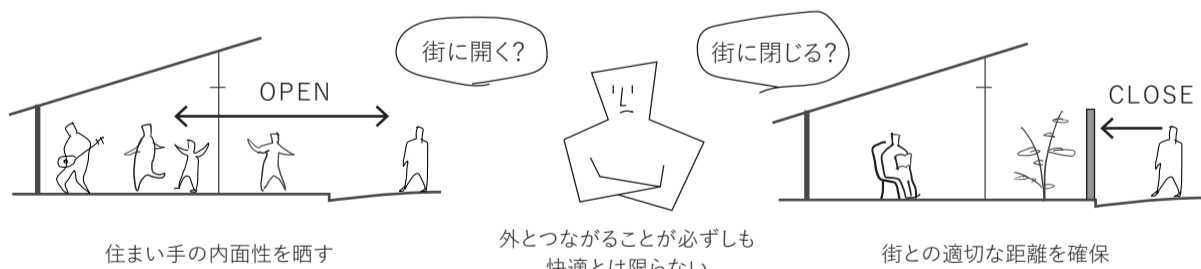
近年の建築ムーブメントは、主に外部(街・自然)に対し建物を積極的に開く方向で考察を深めてきた。地域への積極的開放は、同時に住み手の内面性を晒すため、その試みには公共に帰属しつつ独立した個の意識が欠かせない。

開発が進行中の郊外に建つこの小住宅では、周囲にどう開くかではなく、**いかに閉じるか**に着目した。周囲との距離感を重厚な外壁で作り、**籠る安心感**を確保する。材料に用いたコンクリートブロックは、見慣れた塀として街に溶け込む一方、室内から見れば**街のエレメント**として**“中にとっての外”**になる。入れ子状にした木軸は住まいの中心となり、犬走りであった塀との隙間に生活の用途が生まれる。

木部の床に用いたNLTは軽く薄く空間を繋げ、視線を開放してインテリアに拡がりを持たせる。ブロックと木軸による新たな**“中と外”**との関係が穏やかな暮らしを形成していくのだ。

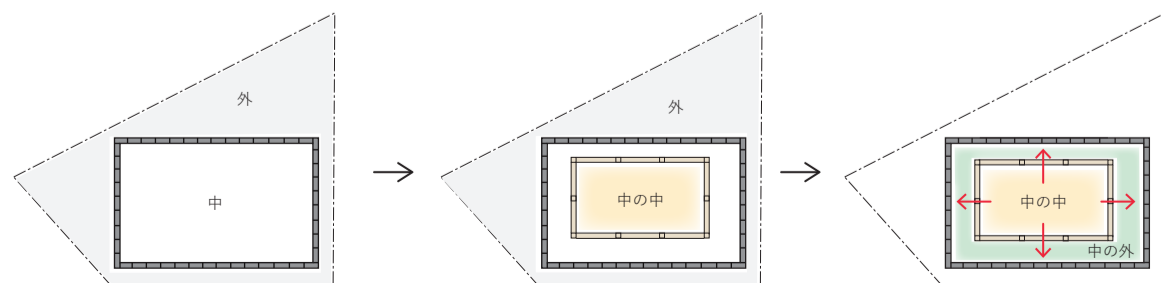


大阪郊外にある開発地、現在も開発は続いている



“いかに閉じるか”

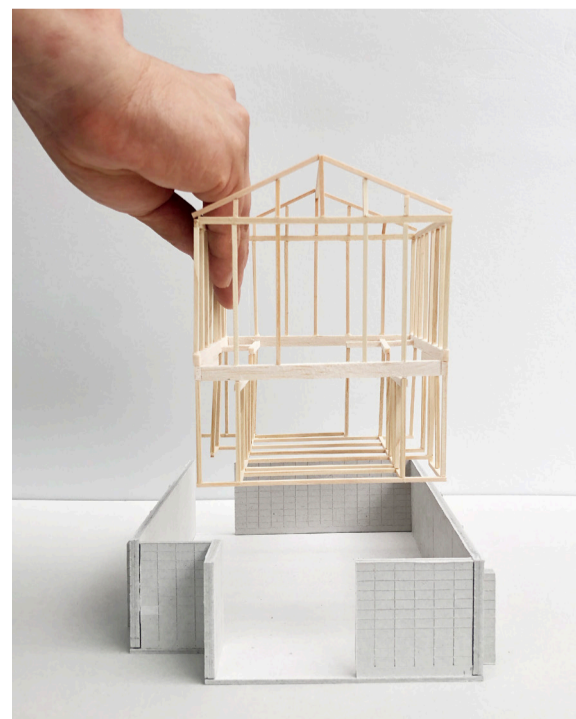
ブロック塀で閉じた中に、外をつくる



ブロック塀で“中と外”を隔てる

ブロック塀の中に木軸を落とし込み  
“中の中”をつくる

“中の外”が生まれる



堅牢なブロック塀の中に軽い木軸を入れる